

プロジェクトマネジメント学会2026年度春季研究発表大会プログラム第1日 (3月12日) 於: 東洋大学 白山キャンパス (東京都文京区)

時間	第1会場 1202 (2階)	第2会場 1203 (2階)	第3会場 1204 (2階)	第4会場 1205 (2階)	第5会場 1305 (3階)	第6会場 1307 (3階)	第7会場 1308 (3階)	第8会場 1311 (3階)	第9会場 1310 (3階)
9:00-	受付								
9:45-10:00	【オープニングセレモニー】会場: 1102 (1階) 東洋大学学長 矢口 悦子 プロジェクトマネジメント学会会長 羽山 警敏 (日立システムズ)								
10:00-11:00	【キーンノート1】会場: 1102 (1階) AI協働社会におけるマネジメントの再定義 - プロジェクトとプロダクトの統合的視座 及川 卓也 (Tably株式会社 代表取締役)								
11:00-11:10	【IPMA 資格認証試験に関するご案内】会場: 1102 (1階) プロジェクトマネジメント学会 総務委員会 副委員長 橋本 亨 (DAIKO XTECH)								
11:10-11:30	休憩								
	山田 康貴 (日本アイ・ピー・エム)	鈴木 賢一 (日本電気)	坂本 健一 (NTTデータグループ)	原田 竜一 (日立ソリューションズ)	平出 強 (富士通)	三角 英治 (NTTデータグループ)	田村 慶信 (山口大学)	赤松 章 (名古屋産業大学)	島山 洋 (富士通Japan)
11:30-12:30	1101 自治体DXにおける共創プロセスの有効性に関する研究 中村洋樹 (日本電気)	1201 ビジネス創成PBLにおける生成AIの活用指針の提案 池田卓海 (千葉工業大学大学院)	1301 就職活動における計画駆動型・変化適応型志向の組み合わせと心理的成果: 学生と入社3年以内の社会人の比較 長根碧泉 (千葉工業大学)	1401 AI投資意思決定を支援する評価指標Return on Employeeの活用 鈴木佐俊 (富士通)	1501 フロントローディングによる検査プロセスの課題改善の一思考 柿崎啓太 (日本電気)	1601 若手中心プロジェクトにおける心理的安全性の構築 谷大輝 (日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	1701 現場業務領域におけるデジタルトランスフォーメーション停滞要因の分析と成功要件の提言 稲葉和也 (日本電気)	1801 リソースシステム保守における海外人材参画の課題と対策 千代夕夏子 (富士通)	【研究委員会セッション】 1901 リスケリング未経験のIT従事者における学習行動の探索的検討 三好きよみ (東京都立産業技術大学院大学)
	1102 PM学から見たマイナンバーカード普及政策の評価と問題点・対策案 吉田憲正 (オフィスYOSHIDA)	1202 ISO/IEC 25010利用時品質に基づくユーザーセグメント別重み付け型システム受入評価モデルの提案 高橋淳 (システムコンサルタント)	1302 道路橋診断技術の社会実装を推進させたプロジェクトマネジメント 木下翔平 (日本電気)	1402 経験的ソフトウェア工学実験における人間活動のLLM再現可能性の基礎検討 小堀令偉 (千葉工業大学大学院)	1502 アジャイル開発未経験チームによるアジャイル導入 天野勝太郎 (富士通)	1602 変化対応力に着目した運用保守マネジメントの強化と未然防止効果 辻智博 (富士通)	1702 消費力最適化に向けたマルチAI移動設備シミュレーションの設計と評価 李夢迪 (富士通Japan)	1802 全社PMOによる組織的なプロジェクト 振り返り手法の実践 宮島賢悟 (日立社会情報サービス)	1902 プロジェクトマネジメント学会の過去予稿集にみるアジャイル「振り返り」の地図: レトロスペクティブ/教訓/ポストモテムの整理と課題抽出 新谷幸弘 (千葉工業大学)
	1103 仮想環境を用いたチームの意思決定に対する感情知性と心理的安全性の影響の基礎検討 高橋啓斗 (千葉工業大学大学院)	1203 システム開発・サービス提供における原理原則の普及展開 富樫慧乃辰 (NTTデータグループ)	1303 大規模システム開発のフィリピンGDC活用: 成功の鍵となるノウハウと実践 岡田圭 (富士通)	1403 商用大規模システム開発を対象とした生成AI活用ソフトウェア開発プロセスの検証 河口慈 (NTTデータグループ)	1503 納期を遵守するためのプロジェクト管理の事例 金澤京子 (NTTデータ先端技術)	1603 パッケージ製品を活用したデジタルトランスフォーメーションにおける既存要件とパッケージ仕様のギャップ解消方法 籠宮生馬 (日本電気)	1703 AIの説明可能性を補完する三層モデル: 相関・因果・ユーザ受容性の提案 中田孝一	1803 システム開発における非機能品質保証ストーリーを用いた品質管理方法の提案 松岡秀平 (NTTデータグループ)	
12:30-13:45	休憩 / 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会 2026年度定時社員総会 会場: 1B11 (地下1階)								
	高山 公章 (NECソリューションイノベータ)	河口 慈 (NTTデータグループ)	新谷 幸弘 (千葉工業大学)	榊田 真也 (富士通Japan)	下田 篤 (千葉工業大学)	貝増 匡俊 (神戸女子大学)	谷元 久実子 (NECソリューションイノベータ)	田中 芳彦 (日立アカデミー)	-
13:45-15:05	1104 構成管理ツールを使った開発環境統制の検証 奥村智帆 (日立製作所)	1204 非開発部門におけるアジャイル組織化の実践 西山美恵子 (クレスコ)	1304 大規模システム開発における要件定義後の要件再確認プロセスの適用事例 武田大輔 (日立製作所)	1404 SE価値を高める情報化構想の重要性について 佐藤匠 (DAIKO XTECH)	【論文審査委員会企画】 「論文の書き方」説明会 内容: 本説明会では、主に実務者の方を対象として、論文執筆・投稿に関する基本的な事項や留意点について解説します。あわせて、説明会終了後には質疑応答の時間を設けます。論文執筆や投稿にご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしています。 主なトピックス: ・なぜ論文が重要なのか ・PM学会における論文の種類と審査の流れ ・PM学会における論文の執筆・投稿要領 ・一般的な論文執筆・投稿の流れ ・良くない論文の例 ・良い論文を書くためのアドバイス ・論文審査委員会の取り組み など	1604 提案段階における研究開発プロジェクトの収束判断の設計 渡邊達太郎 (NTTデータグループ)	1704 セキュリティ製品輸入代理店事業における電装法準拠プロセス構築と品質向上に関する考察 大嶋幹生 (日本電気通信システム)	1804 システムライフサイクルにおける運用と構築の接続強化に資する統制機能について 佐藤和広 (NECフィールディング)	IPMA Young Crew Japan Session 【テーマ】 若手 PM をつなぐネットワーク〜PM の視点を広げる一歩〜 【参加対象】 35 歳以下の春季研究発表参加者 【内容】 本プログラムは、異なるコミュニティに属する35歳以下の参加者同士が、業界や所属を問わず、プロジェクトマネージャとしてのキャリアや日々の仕事や悩みについて気軽に意見交換し、今後につながるネットワークを得ることを目的としています。 ベルリンで開催された2025年度Global Young Crew Workshop (GYCW) の実施内容や学びを手がかりに、多様な視点からディスカッションを行います。 ネットワークを広げるとともに、プロジェクトマネジメント活動や各自のキャリア形成に活かせる新しいアイデアや気づきを得ることを目指します。カジュアルな雰囲気のもと、仲間とのつながりを深めながら、成長の一步を踏み出す機会を提供します。
	1105 Retrieval-Augmented Generation に基づく報告資料評価の自動化とプログラムマネジメントへの適用 玉井恭平 (富士通)	1205 金融機関における戦略的ITガバナンス変革 三田浩介 (富士通)	1305 要件定義品質向上に着目したREBOK要求工学フレームワークの評価 鈴木大介 (日立製作所)	1405 クラウドリフトにおける現新比較テスト自動化・標準化と品質保証 中野真菜美 (富士通)	1605 金融系プロジェクトにおける「境界横断型ステークホルダーマネジメント」の実践的アプローチ 中村信志 (富士通)	1705 大規模プロジェクトにおけるチームコミュニケーション課題へのファシリテーション手法の効果 向井由貴 (日本電気)	1805 多層コミュニケーション構造が意思決定に与える影響の分析と対策 吉澤宏祥 (日本電気)		
	1106 基幹システムモダナイズにおける可視化とSECIモデルによる知識共有を通じた品質向上の実践的アプローチ 高橋英章 (SOMPOダイレクト損害保険)	1206 リモートワーク環境下におけるコミュニケーションツールの有効性 安積拓紀 (日立製作所)	1306 生成AIを使った手続き型言語の設計情報およびデータ関係性復元 竹内大樹アレクサンダー (NTTデータグループ)	1406 産学連携テストベッドを活用したデータベース初学向け実践的教育プログラムの設計と評価 八木拓馬 (NTTデータグループ)	1606 大規模システム開発における横断チームの導入効果 三浦啓明 (日本電気)	1706 プラットフォーム変更に伴うリスクマネジメント 川高俊介 (日立製作所)	1806 大規模プロジェクトにおける組織横断的なコミュニケーション改善に関する対策 棚町智宏 (日立製作所)		
	1107 視覚障壁当事者によるWebアクセシビリティ対応の検討 上村俊行 (東芝デジタルソリューションズ)	1207 ウォーターフォール型開発における生成AI活用の課題と改善案の提言 唯松大輔 (日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	1307 全量一致試験はなぜ終わらないのか、原因と対策を実践事例から読み解く 中村和徳 (富士通)	1407 人間関係スキルを基軸とする挑戦文化再設計の実践モデル 谷口俊郎 (日本電気)	1607 ハードウェア更新プロジェクトのプロジェクトマネジメントの考察 徐業 (日本アイ・ピー・エム)	1707 2013年富士通ビジョン「人の限界を超えるICT」の2025年における実現 中村和行 (富士通)	1807 Realize工程の比率化による大規模パッケージ開発プロジェクトにおける経営判断支援モデルの提案 平出強 (富士通)		
15:05-15:30	休憩								
15:30-17:30	<p>【プロジェクトマネジメント学会各賞の受賞者記念講演】会場: 1102 (1階)</p> <p>表彰講演 (1) PM実施賞本賞 「共創とAIで実現する大規模・複雑プロジェクトの安定化」 日本アイ・ピー・エム株式会社 加藤洋</p> <p>表彰講演 (2) PM実施賞奨励賞 「三井情報におけるPM育成と支援活動のその後の発展」 三井情報株式会社 田淵元喜, 臼田美香</p> <p>表彰講演 (3) PM実施賞エクセレントパートナーシップ賞 「プロジェクトを成功に導く6つの秘訣!」 超ミッションクリティカルシステムの高品質なモダナイゼーションの完遂」 取得側: 株式会社東京証券取引所 供給側: 富士通株式会社 講演者: 富士通株式会社 田中裕介</p> <p>表彰講演 (4) PM実施賞エクセレントパートナーシップ賞 「ソニー銀行次世代クラウド勘定系プロジェクト」 ～中断からの完遂に向けた両社の取組～ 取得側: ソニー銀行株式会社 供給側: 富士通株式会社 講演者: 富士通株式会社 加藤尚樹</p> <p>表彰講演 (5) PM実施賞審査委員会特別賞 「制約を力に変える: 大規模SIプロジェクトにおける成功への戦略・チャレンジ」 富士通Japan株式会社 佐藤大介</p> <p>&lt;春季大会での講演を伴わない表彰者・団体の皆様&gt;</p> <p>名誉会員 (フェロー) 横山 真一郎 栗島 聡</p> <p>プロジェクトマネジメント功労賞 東北支部設立準備特別委員会 山本 修一郎</p> <p>論文賞 中原 あい (株式会社NTTデータ フィナンシャルテクノロジー) 関 哲朗 (文教大学)</p> <p>文献賞 柳生 雄午 (株式会社日立製作所)</p>								
17:30-17:45	休憩/ネットワークングへ移動								
17:45-19:00	ネットワークング 会場: 8号館地下1階								

プロジェクトマネジメント学会2026年度春季研究発表大会プログラム第2日 (3月13日) 於: 東洋大学 白山キャンパス (東京都文京区)

時間	第1会場 1202 (2階)	第2会場 1203 (2階)	第3会場 1204 (2階)	第4会場 1205 (2階)	第5会場 1305 (3階)	第6会場 1307 (3階)	第7会場 1308 (3階)	第8会場 1311 (3階)	第9会場 1310 (3階)
9:00-	受付								
10:00-11:00	【キーノート2】会場: 1102 (1階) PM人材育成30年の振り返り 角 正樹 (株式会社NTTデータ ユニバーシティ フェロー)								
11:00-11:30	休憩								
	佐藤 慎一 (NTTデータグループ)	宮島 賢悟 (日立社会情報サービス)	北島 浩行 (富士通)	唯松 大輔 (日本IBMデジタルサービス)	鈴木 賢一 (東北大学)	岡本 一真 (富士通)	山本 修一郎 (名古屋国際工科専門職大学)	中野 和哉 (日立製作所)	三好 きよみ (東京都立産業技術大学院大学)
11:30-12:50	2108 複数部門が参画するプロジェクトマネジメントについて 和知北太郎 (日立ソリューションズ)	2208 生成AIを活用した商用ミドルウェアのOSS置換調査の効率化に関する考察 大戸清嗣 (日本電気)	2308 システム品質課題発生からプロジェクト再建プロセスの分析 丸茂大輔 (富士通)	2408 若手リーダー層のプロジェクトマネジメントに対する認識についての考察 三浦主税 (日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	2508 分散管理されたプロジェクト情報の統合可視化によるリスク早期検知手法 原田勝弘 (富士通)	2608 インテグレーションと生成AIを活用したソフトウェア開発標準管理コンセプトの提案 藤原育実 (日本電気)	2708 ステークホルダ調整能力育成のための教育設計モデルに関する研究 野坂智大 (日本電気)	2808 複数社展開を前提としたSIプロジェクトにおける品質・生産性・スケジュール健全性の統合マネジメント 山本俊晃 (富士通)	2908 保守プロジェクトの安定稼働下に内在する品質変動リスクの実践的考察 山田康貴 (日本アイ・ピー・エム)
	2109 同時進行する複数プロジェクトにおける人的資源の確保と管理 杉本健太郎 (日立システムズ)	2209 コミュニケーションによるプロジェクトの健全性評価 大野亮太郎 (I&Jデジタルイノベーション)	2309 プロジェクトマネジメント現場でのナレッジ活用拡大に向けた生成AI活用事例 針間正幸 (日立製作所)	2409 行動科学を活用したプロジェクト振り返り設計の有効性 東條大輔 (日本電気)	2509 官民連携型のDXプロジェクトにおける確実なプロジェクトマネジメントの推進 高橋正樹 (日立製作所)	2609 サービスデスク業務における生成AI活用: 問い合わせ抑制と業務効率化 山本國広 (富士通)	2709 24時間稼働空港の無停止システム移行の実践 兼安俊治 (富士通)	2809 行政機関の担当者異動におけるシステム運用に与える影響についての考察—経験的分析— 有馬彩子 (日本アイ・ピー・エム)	2909 広域分散型インフラ構築における納期遅延リスクの検出 塩澤伸太 (日本電気)
	2110 基幹システム運用保守における継続的な品質改善 田電敏彦 (富士通)	2210 自治体システムの事業構造変化に対するプログラムマネジメント 中島亮 (日立製作所)	2310 ステークホルダマネジメントにおけるパラダイムシフト 自社起点からプロジェクト価値起点への変革 藤本幸史 (日本電気)	2410 大規模開発における人材育成を取り込んだシステム設計体制の構築 田中俊匡 (日立製作所)	2510 不確実性下の IT プロジェクトにおける起業家的行動の危機克服プロセス 齋藤龍太 (立教大学大学院)	2610 プロダクト開発部門がAI技術を自らのものとして取り込むために 橋本啓 (DAIKO XTECH)	2710 スキルマトリックスと組織体制改善による生産性向上 奥村康広 (日本アイ・ピー・エム)	2810 プロジェクトマネージャーの活動をドラマツルギー的視点から考察 加藤裕哉 (コベルコシステム)	2910 PoCからMVPへの転換点における要件定義崩壊の分析 杉沢悠登 (富士通)
2111 就職移行期における若手の不安とその対処: 推し進め視点から 貝増匠俊 (神戸女子大学)	2211 モダナイゼーションプロジェクトを担う若手PM育成について 山崎英範 (富士通)	2311 異文化プロジェクト協働におけるレヴィナス的応答の実践 岡田修平 (日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	2411 生成AI適用がもたらす開発プロセスとプロジェクトマネジメント構造の転換 福田幹太 (富士通)	2511 顧客との共創による運用保守プロセス・ドキュメントの全面見直しと運用保守作業の実現可能性の評価 堀東伸明 (日本電気)	2611 国際間知識共有プロセスを表すモデルの提案 遠藤洋之 (iTea)	2711 ERP導入プロジェクトにおける多段階での上流工程推進の検証 平田和之 (日立システムズ)	2811 AIを活用したSaaSサービス基盤アップグレードにおける品質保証手法の確立 青木紀夫 (日本電気)	2911 AIを駆使したプロジェクトに内在するソーシャル・キャピタル野尻一紀 (キンドリルジャパン・テクノロジーサービス)	
12:50-13:50	休憩								
13:50-14:50	【キーノート3】会場: 1102 (1階) 生成AI時代の教育 坂村 健 (東京大学 名誉教授 / 東洋大学 情報連携学術実業連携機構 機構長)								
14:50-15:20	休憩								
	杉江 隆司 (日立システムズ)	坂本 健一 (NTTデータグループ)	奥村 康広 (日本アイ・ピー・エム)	丸茂 大輔 (富士通)	小笠原 秀人 (千葉工業大学)	高田 淳司 (日本電気)	三角 英治 (NTTデータグループ)	越前 辰美 (北海道日立システムズ)	泉川 太 (DAIKO XTECH)
15:20-16:40	2112 プロジェクト同時多発期におけるプログラム・ガバナンスの設計・実装・評価 栗原敬介 (日本電気)	2212 AIを活用した品質管理標準プロセス改善の試み 益田英哲 (富士通)	2312 発注者PMOの課題と改善に向けた提言 角田淳 (キンドリルジャパン)	2412 大規模スクラムにおけるオフショアチーム参入を可能にする実践的アプローチ 久保山友心 (日立社会情報サービス)	2512 アプリケーション開発・保守における生成AI導入初期の適用と役割分担に関する考察 大塚英司 (日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	2612 研究開発プロジェクトにおけるスコープマネジメントと人的資源マネジメント 廣野正純 (日立製作所)	2712 システム再構築プロジェクトにおけるチーム内のモチベーション維持・向上 菱江伯彰 (富士通)	2812 変化の激しいシステム開発を乗り切る見識も戦略 長谷川智哉 (富士通)	2912 最適化プロジェクトの要件定義工程におけるスコープマネジメント施策適用に関する考察 横沢邦一 (日立製作所)
	2113 OSSオープンシステム環境に対する深層マルチモデル学習に基づく信頼性評価法 田村慶信 (山口大学)	2213 IT企業における人材育成再構築の構想提案: 人的資本経営にもとづくポートフォリオマネジメントによる教育と実務の統合アプローチ 阿部美子 (クレスコ)	2313 健全な契約とマネジメントの重要性 須安敏文 (富士通)	2413 金融機関向け専用端末更新における早期スクープ合意がプロジェクト成否に与える影響 吉田佳 (日本電気)	2513 アノテーションプロジェクトにおける品質マネジメント 簡井賢 (Nextremer)	2613 大学プロジェクトマネジメント教育の昼中比較と若手PM志望者が直面する困難に関する研究 易言 (日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	2713 大規模ITシステム移行における緊急連絡用の新しいクラウド型モデル及び効率向上 徐ホウホウ (日本アイ・ピー・エム)	2813 自治体向けシステム開発プロジェクトにおけるインシデント分析 細谷勇希 (日本電気)	2913 AIを活用した予測システムにおける精度評価と顧客合意形成プロセスの実践 野口夏夏 (日本電気)
	2114 顧客満足度向上のためのプロジェクトマネジメントの考察 武田直浩 (日立製作所)	2214 大規模ITシステム開発プロジェクトにおけるステークホルダー分析及びマネジメントに関する手法の提案 竹市嘉一郎 (日立製作所)	2314 生成AIを活用したプロジェクト悪化予兆検知 福島寛貴 (三菱電機デジタルイノベーション)	2414 DEDEモデル: 知識代謝サイクル 山本修一郎 (名古屋国際工科専門職大学)	2514 マルチベンダーの一斉システム移行プロジェクトを成功に導く 全体PMOの管理のポイントと実践 細貝雅史 (日本電気)	2614 全社顧客マスタ移行期における多案件並走を可能にするデータアーキテクチャ駆動のチーム編成 松本晋史 (富士通)	2714 生成AIを活用したプログラムマネジメントの実践 園部優人 (日本電気)	2814 AIを活用したシステム開発プロジェクトにおけるメンバーのWell-Beingについて 長久幸雄 (日本アイ・ピー・エム)	2914 グローバルプロジェクトにおける適応的体制構築とハイ/ローコンテキストの視点 浅田良平 (富士通)
2115 人的資本経営推進におけるHRPMOの動的な役割: PMOの思考・行動様式変革の多事例分析 佐藤慧 (富士通)	2215 生成AIを用いた品質保証AIエージェントの提案 久田大地 (日本電気)	2315 基幹システムの設計における品質確保の施策検討 加藤謙一 (日立製作所)	2415 現場の実践知の迅速な共有と全社活用に向けた双方向型のナレッジ育成サイクルの形成 有若新悟 (富士通)	2515 公的金融機関のモダナイゼーションを成功に導く品質マネジメント 西田祐規 (富士通)	2615 官公庁PC LANの運用プロジェクトにおけるマネジメントプロセス標準化と考察 岡田和樹 (日本電気)	2715 知識移転段階モデルの拡張 遠藤洋之 (iTea)	2815 自治体・公共分野におけるステークホルダー・エンゲージメントに基づく合意形成調整モデルの一般化 小高康之 (日立社会情報サービス)		